

# さわどい 埼玉

## 第三回総会・懇親会 一〇六名が出席し開催



議長を務める原会長

去る六月五日、さいたま市民会館を会場に、当友好協会の第三回総会及び懇親会が開催されました。一〇六名の出席の下、「平成十二年度事業活動及び収支報告の件」「平成十三年度事業活動及び収支予算(案)の件」「役員改選の件」の三議案が提案通



懇談会で挨拶する土屋知事

り満場一致で承認されました。役員改選では、杉浦忠雄幹事の後任として斉藤和之氏が、また新たに前島静頭氏、笠井和子氏が幹事として役員に加わりました。続いて、タイ文化研究家として知られる、(株)松田平田の後藤忠正氏の講演「タイ王国と日本の歴史」が行われました。その後、名誉会長である土屋埼玉県知事、顧問の土屋品子、山口泰明両衆議院議員を迎えて懇親会が開かれました。乾杯の後の会場には、いくつもの歓談の輪が出来、散会を惜しみながらの閉会となりました。



### 役員紹介

名誉会長



土屋 義彦  
(埼玉県知事)

顧問



山口 泰明  
(衆議院議員)

顧問



土屋 品子  
(衆議院議員)

会長



原 宏  
埼玉県経営者協会  
会長・武州ガス(株)  
代表取締役会長

副会長



泉 肇  
イズミ工業(株)  
代表取締役会長

副会長



増野 武夫  
埼玉経済同友会  
代表幹事

副会長



吉野 重彦  
埼玉県商工会議所  
連合会会頭

幹事



横田 誠  
(株)エンプラス  
代表取締役会長

幹事



大久保 敏三  
(株)丸広百貨店  
代表取締役社長

幹事



斉藤 和之  
本田技研工業(株)  
事業管理部長

幹事



前島 静頭  
蓮田病院院長

幹事



笠井 和子  
ガールスカウト  
日本連盟埼玉県  
前支部長

監事



西條 正和  
新電元工業(株)  
常務取締役

監事



伊藤 明  
ユウアイ電子(株)  
代表取締役社長

事務局長



吉田 正広  
武州ガス(株)取締役  
社長室長

# 深く 広く育つ友好の輪

## 新役員を迎えてスタート



会長 原 宏

本年度も会員の皆様、及び関係各位のご指導とご協力をよろしくお願い申し上げます。

## タイ王国と日本、 交流の歴史

タイ文化研究家  
(一級建築士)

後藤 忠正氏

タイ王国は、国王を神格化する思想のもとにバラモンの流れを汲んだ「タイ・ブラーマン」「テラワータダム教」(上座部仏教)、古くからの土着信仰である「アミニズム」の三者が混成した独特の文化をもった王国として栄え、東南アジアでは唯一植民地とならず独立国家を形成しております。

日本とタイの交流は六百年前



講演する後藤忠正氏

去る五月、第三回総会が開催され、全議案を原案通りにご承認いただきました。ともすればこうした総会は役員とその周辺会員だけの出席となりがちですが、当友好協会は設立以来多くの会員の出席をいただいております。盛会の中に総会・懇親会が開かれております。名誉会長の土屋知事、顧問の土屋品子代議士、山口泰明代議士にもお忙しい中、ご出席いただいております。これは会員の皆様のご理解、ご協力の賜と深く感謝しております。本年度は、役員改選の年にあたり、新たにお三人の方に加わっていただきました。国際的な企業活動をしているホンダ技研の事業管理部長 斉藤和正氏と蓮田病院院長の前島静頭氏、ガールスカウト日本連盟埼玉県前支部長の笠井和子様で、これまでとは違う視点からのご意見やご提案をいただけるものと楽しみにしております。

## タイ貿易・投資・観光セミナー開催

参加者に感想を

聞きました

国精工業(株)

保谷和平さん

九月六日、さいたま市の大宮ソニックシティで駐日タイ王国大使館主催・埼玉県、ジェトロ埼玉情報デスク共催・当友好協会後援のタイ貿易・投資・観光セミナーが開催され、当友好協会からも会長をはじめ多くの人が参加しました。

セミナーは、サクティブ・グライラーク駐日タイ大使と田村健次労働商工部長の挨拶の後、次のようなプレゼンテーションがあり、タイ経済の現況や投資環境等が語られました。



多くの会員が参加したセミナー会場

まず参加者が多いのに驚きました。大使や公使から直接タイ王国の現況を聞き、大使館の熱意を感じました。特に新空港、地下鉄、高速道路等のインフラ整備が着実に進んでいることを知ることができました。ビジネス面では我が社が進めている中国での機械メンテナンスを中心とした進出をタイ王国でも出来ないか検討したいし、個人的には、高齢者の長期滞在の話に大変興味を持ちました。

株東興業

小西昭平さん

「タイと日本の貿易」(タムロン公使)  
「タイの投資環境」(ノッポン公使)

「タイ観光の魅力」(サンズーン政府観光庁東京事務所長)  
ジェトロ・タイ進出支援事業について (GETRO 海外投資課員黒須氏)

プレゼンターがタイの経済現況をあらさまに公表されたことに非常に驚き、真剣さを感じました。また日本からのタイ観光客が年間百二十万人もいると数字には大きな感銘を受け、世界遺産等の魅力もあるのではないかと感心させられました。ジェトロがサポートしている B S C T については、今後「さわっでい・埼玉」等で PR を行ってくれるものと期待しています。

タイ・ロイヤルプロジェクト財団来日  
県内の各研究施設で研修



歓迎会のひとコマ



去る六月二十四日から七月六日まで、タイ王国のロイヤル・プロジェクト財団のサブサク氏、マイトリ博士、ソンポール氏の三名が来日し、埼玉県農林部のご協力の下、埼玉県立がんセンターの見学や埼玉県農林総合研究センターの県内各施設での研修を行いました。当友好協会は同財団とはマイトリ博士を通じて狭山茶種子を贈るなどの

交流を深めてきており、今回は茶葉の採取から製茶までを具体的に学ぶ事を目的の来日となりました。

ソンポール氏は埼玉県農林総合研究センターの施設の一つ、入間市上谷ヶ貫の特産支所で十日間に渡り、製茶工場の視察を始め、手揉みの体験から機械による製茶技術、病害虫観察、緑茶品質審査まで多岐に渡った研修を行いました。

\*タイ・ロイヤルプロジェクト財団とは

一九六九年、タイ王国の研究を基にタイ国北部に設立され、以来約三十年、アヘンに代わる高地農作物の導入と指導、山間民族のための森林と河川の保護、生活水準の向上などに成果を上げてきた。現在、国王が名誉会長、ピサテジ殿下が財団長を務める。



川越市内を散策する一行

【研修風景（特産支所提供）】

▶高品質茶から低級茶まで、緑茶の外観、色、味、香りの審査法を実習するソンポール氏（後方）



◀県内一の大規模製茶工場を視察するマイトリ、サブサク両氏（後方）



▶単に機械を操作するだけではなかなか具体的な製茶ノウハウは学べないと、緑茶の手揉みを通じて製造プロセスを細かく研修していただいた。

企業訪問

④

「タイ・ホンダ」社 HondaAutomobile(Thailand) Co.Ltd.略称(HATC)

HATCはタイのモータリゼーション進展に伴い、96年3月、現在のアユタヤ県ロジャナ工業団地でCITYとCIVICの2モデル、年間6万台の生産可能な規模でスタートした。その年タイ市場は大きく伸び、HATCでも4万5千台を生産した。

しかし、翌年パーツリセッションが起り、98年は全体市場が70%もダウン、HATCも大幅に生産が落ち込んだ。その結果余剰従業員を大きく抱え込むことになったが、HONDAのポリシーである「人間尊重」と「試練はチャンス」というチャレンジ精神をこの場面に生かし、タイ人従業員250人を鈴鹿製作所に研修に出し雇用を確保、そして将来に向け、ISO9001、14001を取得し人材育成、品質管理のレベルアップを図ったのである。2000年10月CIVICのフルモデルチェンジを日本とほぼ同時期に立ち上げることが出来たのは、こうした



取組みの成果であった。99年より市場も順調に回復し、現在はACCORD、CR-Vを加えた4モデルの生産に生産部門1600人、駐在員28名が働き、日本並みレベルの達成、コスト競争力の強化、現地化の促進に取り組んでいる。

(円内は責任者の佐々木勝彦氏)

本年度の  
友好協力事業

埼玉県関係

- ・駐日タイ王国大使出席の「桜を観る会」に会長出席
- ・タイ王国ロイヤルプロジェクト財団の研修受け入れ協力
- ・第一回埼玉県ジュニアサッカー大会のタイ小学生ホームステイ先募集等協力

その他の団体関係

- ・埼玉大学経済学部とチュラロンコーン大学との学生交流計画に協力
- ・タイ・ガールガイド協会 看護助手育成事業協力

その他

- ・ダルニー奨学金へ十名、三年間分として三十万円を寄付
- ・学校建設資金として五十万円を積み立て
- ・会員を対象に親善訪問ツアーを実施（時期は未定）



チュラロンコーン大学学生の歓迎会（4月4日埼玉大学にて）

# タイにアクセス

タイアラルト  
VOL.5

ガールスカウト  
看護大学を訪問

ガールスカウト日本連盟埼玉支部の10名が、7月29日から8月10日までアメイジングタイランド文化キャンプに参加しました。その中で7月31日には看護大学を訪れ、18名のガールガイドの学生に三角巾救急法の実習を行なうと共に交流を深めました。

なお、9月21日に行われた同大学の卒業式には、当友好協会の役員でガールスカウト日本連盟埼玉前支部長の笠井和子氏と当友好協会タイ事務局の佐藤氏、小笠原氏が出席しました。



▲国王のお母様が創設された看護学校前で。白ブラウスがガールスカウト埼玉支部の皆さん

▶手から手へ、伝わるのは技術だけではありません



◀上手く出来ましたの  
声に笑顔が弾ける。笑  
い声の絶えない会場で  
した

## タイ・ローカル情報

### 1～7月のタイ自動車輸出実績

今年1～7月のタイの自動車の輸出高（オートバイ除く）は前年同期比44.68%増加し587億4千パーツ。内、タイで製造された自動車は9万6,439台で456億8千パーツ、自動車部品は130億6千パーツだった。メーカー別に増加したのはホンダ・三菱・シボレー。その他は減少した。

「バンコク週報」より



## 会員 VOICE

### 日本人が失ったものが、 まだタイにはある

川越市 小松重和さん



鎌倉に生まれ、若い頃は湘南太陽族よろしく遊んでいて、仕事で埼玉に来た時は都落ちと嘆きましたが、今はその川越が第二の故郷、そして第三の故郷が20年前に仕事で5年間暮らしたタイです。

特にタイの女性は素晴らしいですね。バーなどにキープしているお酒を「薄いからもっと濃くして」と頼むと「早く無くなるから」と言う…、商売よりお客の立場で考えていることに感激しましたね。

タイの人はまじめで、本当に一生懸命です。いま生活がどんどん豊かになっていますが、日本人が失ったものをまだ持っていて、発展のエネルギーとの混在が魅力です。仕事はもう退いていますが、これからも親善訪問などの機会には、ぜひ参加したいと思っています。

## 編集後記

●友好協会が設立されて三年目、会員の皆様の情報やご協力で活動も手探り状態からやや方向性が見えてきたようです。(Y)

●タイは、これからが一番観光に適した季節になります。観光客も増え、なかなか飛行機のチケットも取りにくくなります。特に午前十一時ごろの各便は一番込み合います。昨今の事情により、今年はどうか分かりませんが…。

(I)

## 「前回を上回る人出の フードフェスティバル」

五月十二、十三日、代々木公園で行われたタイ・フードフェスティバルは、昨年秋より出店等も多く前回を上回る人出で賑わいました。今回は野菜のカービングやタイカレーの料理教室もあり、「実技」を楽しもうとする人たちが列を作っていました。会場を訪れた会員の皆さんにはすぐ食べられるトムヤンクンやタイカレーが手渡されました。第三回は来年五月に開催されるそうです。



人気のカービング教室